

第3回久留米市北野複合施設指定管理者候補者選定委員会 会議録

日 時：令和6年10月11日（火） 13時00分～15時15分

場 所：久留米市役所303会議室

出席委員：右田委員、矢野委員、堤委員、宮崎委員、河野委員、和田委員

欠席委員：なし

1 開会

2 面接審査の実施について

事務局より、面接審査のスケジュール、注意事項等を説明

3 面接審査（プレゼンテーション、質疑）

<久留米スポーツ・ウェルネス共同体>

※プレゼンテーション後、質疑応答

【委員】 応募動機と貴団体の強みを教えて欲しい。

【団体】 総合的な運動支援を行っていきたいと考えている。現在、弊社が管理している他自治体施設にはプールがない。マシンやスタジオ、プールなど総合的に健康づくり支援ができる施設を管理したいと希望し、今回応募した。

強みは、スタッフの育成である。スタッフがノウハウを持っているというのは、スポーツの中では重要なことである。スタッフが軸になり、若年層雇用や地域の方の雇用を行うにあたって、しっかりと育成計画を立てながら、円滑な運営ができると考えている。

【委員】 共同体のことについて、新たな取り組みとのことだが、詳しく教えて欲しい。

【団体】 公共施設の施設管理は株式会社など民間がやっているケースが多い。その場合、例えば学校に運動指導を行いたくても、株式会社が介入することが難しい場合がある。総合型地域スポーツクラブというのは、地域に根づいた、健康づくりやスポーツづくりを推進としている団体なので、施設の中でも運動指導ができ、その周辺地域でも総合型地域スポーツクラブの一環として取り組むことが可能と考える。指定管理施設の外で健康づくりやスポーツ推進を行うことが、指定管理施設の利用促進に繋がると考える。

【委員】 構成団体の決算報告書について、損益計算書の外注費が突出しているが、外注費の内容が分かれば教えて欲しい。

【団体】 工事に関しては外注しているのでその金額と思うが、内容までは本日来ている

者では分からない。

【委員】 地域との連携について、北野地域をどのような地域ととらえているか。

【団体】 公園や施設を利用したことがあるが、施設や設備が綺麗というイメージがある。利用者として地域の方たちと接する機会があり、人柄があたたかいという印象がある。

【委員】 運動やスポーツの企画は説明があるが、食や栄養に関してはどうか。

【団体】 他施設では、管理栄養士による講座や、口腔の話などを行っている。食事や口腔については、子どもからお年寄りの方まですべての方の健康に必要と考える。

【委員】 本施設は複合施設だが、図書館などの活用は検討しているか。

【団体】 他の図書館でやったことだが、子どもに読み聞かせをしているスペースで保護者が隣でヨガをするなどを検討している。

【委員】 市の計画や取り組みとの関係をどう考えているか。「健康くるめ21」にどのように貢献したいと考えるか。また、コミュニティバスや市の保健師とのなどとの関係性はどのように整理しているか。

【団体】 市の計画との取り組みは、市の担当者と話していきたい。事業計画を立てる際に市の担当者と協議をして、事業として展開していきたい。

送迎バスは、地域の小学校やコミュニティセンター病院などをつなぐバスと、弊社の管理施設をつなぐバスの2つを考えている。コミュニティバスが重複するようならば、市外からの利用促進として、シャトルバス送迎でつなげていきたいと考える。コミュニティナースは、他の自治体でも実施経験があり、その際も市の保健師の活動と重複しない活動を行った。住み分けを図りたいと考える。

【委員】 他自治体で送迎バスを運行している実績はあるのか。

【団体】 学童保育所と連携して、学童へ子供を迎えに行き施設へ連れてきて運動指導を実施し、保護者が迎えに来るという実績がある。

<面接終了、団体退出>

<株式会社イトマンスポーツスクール>

※プレゼンテーション後、質疑応答

【委員】 応募動機と貴団体の強みを教えて欲しい。

【団体】 現在の指定管理期間が始まって3年ぐらいは消化不良であった。いろいろな制約の中で利用者にも我慢をしてもらった。できなかった、やりきれない気持ちが大きかったので、やはり次の5年で、目指す姿、目指したいところまで持っていきたいと考えた。弊社は、小さな成功体験を積み重ね、習慣化することで成功ビジョンにつなげるという方針がある。それを指定管理でもっと生かせることができれば、地域の、健康づくりや生きがいづくりにつながるのではないかというのが、応募の動機である。

- 【委員】 こういう施設は時間に融通の利く方の利用が多いと思うが、若年層を取り込めた背景はどのように考えるか。
- 【団体】 工夫した点は、トレーニングマシンをフィットネスクラブの視点から増設した。また、筋力低下にはプールだけのアプローチではなく、やはり陸上トレーニングを入れた方がいいのではないかの視点から、マシンのボリュームを少し変えた。そういう効果もあって、トレーニングエリアの利用が増えた。
- 【委員】 人手不足についてはどのような対策を考えているか。
- 【団体】 勤務時間や社会保険の問題などの課題はある。現状では、60歳以上のスタッフが頑張っている。年長者のスタッフは経験があって、フォローが良い。有資格者の年長者の雇用を積極的に行い対処していきたい。
- 【委員】 モニタリングの結果をどう分析しているか。今後どのように改善していくか。
- 【団体】 調理室などの貸室はコロナ前の水準まで回復していない。利用料収入も当初の目標を高く想定しすぎた感がある。活性化している部分もあるが、停滞している部分もあることが今の課題と感じている。今後は、施策を誰に対しても満遍なく行うだけでなく、ターゲットを絞り込んだアプローチや事業を実施したいと考える。
- 【委員】 実際、令和6年度でやっていることはあるか。
- 【団体】 体力測定は利用者の拡大に貢献しているが、運動習慣の有無などで満足度が異なることが分かった。運動強度、測定の項目などを、年齢と年代等など分けた方がいいと考えている。11月に実施する測定会では、男女別など層を分けて実施する予定である。
- 【委員】 以前と比べて、掲げる目標などはあるか。
- 【団体】 数値目標があり、それを具体的にどうするかは、利用回数を増やしていくことが必要になる。利用頻度の傾向を見て、利用頻度の下がる時期にイベントを実施することで足を遠のかせない工夫が必要だと考える。分母となる利用登録者数を増やすためのアプローチとして、地域での出稼ぎ型の体力測定も一つの提案である。
- 【委員】 地域経済の活性化について、地域の活性化はあるが、経済の活性化の点について教えて欲しい。
- 【団体】 施設管理メンテナンスなどの対応には地元業者の活用することで、地域経済にも貢献できると考えている。職員採用についても、弊社はスイミングスクールが母体で、地元の大学生がアルバイトからそのまま指導者として就職するなど、地元の雇用にも貢献できると考える。
- 【委員】 本市には「健康くるめ21」があるが、指定管理業務を通して、計画に掲げる目標などに関連するものにどう貢献されたか。また、提案の中に地域や地域団体、地域企業との連携が挙げられていたが、詳しく教えてほしい。
- 【団体】 75歳を境目に、運動習慣の有無が筋力等に差が出ていると感じる。日常の生

活では気づかないことも、測定会などのアプローチをきっかけに、自身の状態を知ってもらいたい。地域の公民館、商工会などと連携した測定会の実施や企業などへも働きかけ、健康づくりにお手伝いできればと考える。また、体力測定だけでなく、ボッチャなどの簡単なスポーツイベントの開催などで、地域へ貢献していきたい。

【委員】 各種スポーツ施設を管理していると思うが、公共施設と民間の施設の違い、目的やターゲット等をどのように考えているか。

【団体】 民間施設はそれなりの対価を払い利用するので、高い水準に対応する必要があると考える。公共施設では、遊びなどを通じてスポーツに親しんでもらうなどの取り組みで、新たな利用者の掘り起こし等を行い、すそ野を広げていくことも必要と考える。持続可能な健康づくりに関与できればと考えている。民間施設でできないことを公共施設で取り組んでいきたいと考える。

4 採点

5 集計結果の報告

事務局にて集計結果を報告。

6 候補者（案）の選定

【委員長】 評点の集計結果に基づく選定結果の確認を行い、選定委員会として、《株式会社イトマンスポーツスクール》を優先交渉権者とし、《久留米スポーツ・ウェルネス共同体》を第2交渉権者とする。

<<全員了承>>

7 閉会